

## 西明石地区活性化に向けた取組について

西明石地区の活性化については、JR西明石社宅用地等を含めたエリア全体のまちづくりを行うことを目的として、2020年(令和2年)12月にJR西日本と「西明石駅及び駅周辺におけるまちづくりの推進に関する協定」を締結し、具体的な事業の実施に向けた取組を進めているところです。

つきましては、西明石地域交流センターicotto(いこっと)の事業期間及び工事費の見直しやロゴマークの選定など、これまでの取組と今後の予定について報告します。

### 1 地域交流センターの事業期間及び工事費の見直しについて

基本設計完了時(本年3月末)の設計内容で概算工事費を算出したところ、建築資材や人件費等の原価高騰などにより、当初予定額を超える金額となりました。そのため、工事費縮減に向け、建築部材等の仕様の見直しや設計調整を行う必要が生じた結果、設計期間を延長せざるを得ない状況となりました。

#### (1)事業期間の延長

建設工事費の抑制のために基本設計の調整(施設の仕様検討)を行った結果、実施設計完了時期を当初予定の2024年(令和6年)9月から2025年(令和7年)2月まで延長します。

また、設計期間の延長に伴い、建設工事の完了が当初予定の2026年(令和8年)6月から11月となる予定です。(工事期間17カ月想定)

2024年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
当初	概算・仕様決定		設計図面作成	積算							
変更	概算・基本設計調整(仕様検討)					仕様決定				積算	
	実施設計(工事費確認・コスト縮減)					設計図面作成					

#### (2)建設工事費の状況

建設工事費については、整備計画策定時には約17億円と想定していましたが、基本設計完了時点の設計内容で概算工事費を算出したところ、約23億円となる見込みであることが判明しました。

工事費増額の主な要因と概算額は以下のとおりです。

項目	概算額
建築資材や人件費等の原価高騰	約3.6億円
設計内容の見直し(基礎杭の杭径変更、多目的ホール床の防振ゴム設置、可動間仕切りの追加、照明の変更等)	約1.7億円
面積増(3,447㎡⇒3,660㎡・・・約210㎡増加)	約1.0億円
合計	約6.3億円

今後も引き続き、工事費の縮減を図りながら設計を進めるとともに、施工者選定の段階においても競争性を高められるような発注方法を検討してまいります。

## 2 西明石地域交流センターのロゴマークについて

西明石地域交流センターについて、施設名称 icotto(いこっと)にふさわしく、利用される方に親しんでいただけるよう、今年7月から8月にかけてロゴマークの募集を行い、406 点の応募をいただきました。施設名称をデザインしたものや施設のコンセプトに沿ったものなどの中、人とつながる交流の場にふさわしいロゴマークの原案として右記の作品を選定しました。



## 3 今後の予定について

2026 年(令和 8 年)に完成するJRの駅ビルと本市が整備する駅前広場(暫定整備)及び駐輪場の同時オープンを目指し、JR西日本と調整を図りながら、設計及び工事を進めます。

また、駅前広場から明姫幹線までのアクセス道路についても、現在、実施中の測量や設計、用地取得等を進めてまいります。

西明石地域交流センター icotto についても、2026 年度(令和8年度)中にオープンできるよう、今年度中に実施設計を完了し、来年度の早期に工事発注する予定です。

なお、現在のサンライフ明石については、施設を利用できない期間が生じないよう、新施設の完成後に、解体工事を行う予定です。

年度		2023(R5)年度	2024(R6)年度	2025(R7)	2026(R8)	2027以降(R9)
事業			現在 9/20			
駅ビル(改札) 《JR事業》		設計		工事	● 施設オープン	
道路事業	駅前広場		駅ビル 工事ヤード	整備工事	● 施設オープン(暫定) ● 残部分工事	
	アクセス道路	測量	詳細設計	用地取得・整備工事(順次)		
地域交流センター		基本設計	実施設計	▼ 用地取得 工事	● 施設オープン	旧施設解体
住宅開発(西敷地) 《JR事業》		設計	社宅解体	工事		● 入居開始
旧国鉄清算 事業団用地		測量(地図訂正・境界確定)		利活用に向けた検討		